

学校名	伊達郡川俣町立川俣小学校	校長名	阿部 雅好		
住所	伊達郡川俣町字宮前36番地	児童生徒数	217	学級数	13
TEL	024-566-2022	ホームページアドレス			

T T 指導を生かし、個に応じた支援を行う授業

1 少人数指導の計画等

本校では、算数科の授業において、全学級で週2時間程度のT Tによる指導を行っている。特に自力解決の段階では児童に考える時間を十分確保し、教師は児童の学習状況を見取りながら個に応じた支援を行う。また、話合いの段階では机間指導の中で見取った児童の考えやグループで話し合った内容を教師間で確認し合い、話合い（練り上げ）のコーディネートに生かすようにする。

2 実践の概要

(1) 第3学年「大きい数の計算を考えよう」

① 本時の目標（本時5/10）

- ・ 1000-3位数（265）の計算の仕組みを位取り板を使って説明することで、計算の仕方を考えることができる。

② T1の役割

- ・ 自力解決の段階では、位取り板の千の位に1000のカードを書いたままどうしてよいか分からない児童に対して、考えの糸口を示した。まず百の位での引き算を言葉と図を結びつけて考えることができるようにし、そのあと、十の位、一の位と順を追って考えさせた。
- ・ 話合いの段階では、途中までであっても発表したり考えたりすることができたことを認め、意欲をもたせて話合いをコーディネートしていった。

T2の役割

- ・ 自力解決の段階では、位取り板で図がかけた児童に対して、図の説明をさせ、連続して繰り下がりがある場合を意識させて、計算の仕方を言葉で説明できるように指導した。また、発表ボードに考えを書かせ、発表の準備をしたり、考えのまとまった児童同士で考えを交流させたりした。
- ・ 話合いの段階では、発表を促したり聞いている児童に質問をさせたり、それに答えさせたりしながら話合いを補助した。



(2) 第6学年「円の面積の求め方を考えよう」

① 本時の目標（本時4/6）

- ・ 多様な考えで円を含む複合図形の面積の求め方を考え、求めることができる。

② T1の役割

- ・ 自力解決において、問題で示されている図形を分解した円や正方形を切り組み合わせたりする作業をさせながら、円や正方形がどのように組み合わされているかに気付くことができるよう指導・支援した。

T2の役割

- ・ 問題が解けた児童に対して考えを称賛したり、類似問題や応用問題に取り組みせたりし、積極的に個別指導に関わった。

3 実践の成果と課題

- 自力解決の段階では、児童の学習状況に合わせて個に応じた支援をすることができたので、児童は自分の考えを確かめながら学習を進めることに自信をもった。特に、上位の児童にとっては、解決後に更に他の考え方を見い出したり練習問題で力を確かなものにしたことができ、最後まで学習意欲を持続して学習に取り組むことができた。
- T T 2人の教師が児童の学習の様子を見取っているのも、互いが見取った児童の考えを練り上げで生かしたり、児童の学習の理解度について教師がしっかり把握し次時での指導・支援に生かしたりすることができた。
- さらに学力の確かな定着に向け、各学年の習熟の度合いが低い領域や単元等で集中してT Tによる指導が可能となるようなシフトを工夫する。